令和3年度

研修だより

県·市町村職員 対象



多自然川づくり(体験)研修

発行/



(公財)福岡県建設技術情報センター

〒811-2416 福岡県糟屋郡篠栗町大字田中315番地の1

試験研究課 調査研修係

TEL 092-947-2643 E-mail kensyu@fcti.jp

▶ 年間予定表

※ 研修の日程は変更となる場合がございます。 詳しくは、センターホームページをご参照ください。

	-1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	Ш	12	13	14	15	16	17	18	19	20	計し 21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
4月							(初任者)	手 計 積 算 D						土木の基礎					武蔵(初級)	武蔵(初級)							(初任者)	橋梁点検			
5月											施工管理	土 木						(初任者)	手 十積 草算		防災			実 務	災害復旧	システム 積算 ①	システム②	システム ③			
6月		公共測量			【新】						YOU点検				【新】								講習会(仮)ドローン基礎							コンクリート	
7月	コンクリート	(工場見学) コンクリート			る発注者業務橋梁補修に関す								武蔵(中級) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	蔵注	i 武 c d 武 c a n	i 発 武 c 注 ② o n				(道路排水構造	(建物補償)							· 検査 理		(擁壁)	
8月				(上部工編)													(交替) 計) 計 部	道路路						7 7 <u>3</u>	下水道		i . c o n				
9月	合意形成						交通安全道路維持・		· 解 析	土質調査					(落石対策		河川計画					講習会(仮)ドローン基礎							アスファルト	土木材料	/
IO月	(工場見学)					公園緑地					石	橋点核	技術	講習																	
11月																ンクリー	一卜橋花	甫修工:習	*												/
12月	講習会(仮)ドローン基礎																														
		◆ 行	政研	修(県及7	グ市町	」村職	員対	象)									•	行政	女研修	(市	町村	職員対	付象)							
	初級(通年) 専門(通年) 専門(隔年)								年)					初	級(i	通年)			専門] (通	.年)										
	IT (通年) R3 新規 講習会 市町村橋梁メンテナンス技術講習 (共同開催道路維持課、道路協会)																														

▶ 年次計画概要

【市町村職員対象】

《令和3年度版》

コース	開催頻度		研 修 名	対 象 者	研修目的	回数	予定日
初級	毎年	(は	土木の基礎 じめての土木行政)	はじめて土木に携わる職員	基本的な土木用語の解説をはじめとした 土木の基礎知識を習得する。	-	4/14
			積算システム	土木積算に携わる職員	積算(設計書)システムについて、円滑に システムを利用するための基礎知識を習 得する。	3	5/26 5/27 5/28
専	毎	,	You点検システム	橋梁の維持管理業務に携わる職員	市町村向け道路橋維持管理システム(You 点検システム)について、システムの利 用及び橋梁直営点検の基礎知識を習得す る。	_	6/11
門	年	市町村橋梁メ	現場で学ぶ石橋点検	橋梁の維持管理業務に携わる職員	石橋の点検に必要な知識と技能を現地実 習により習得する。	_	10月中旬
		講習インテナンス	現場で学ぶコンクリート橋の補修工事	橋梁の維持管理業務に携わる職員	コンクリート橋の補修に必要な知識と技能を学び、直営補修の実習を行う。	ı	月中旬

【県·市町村職員対象】

コース	開催 頻度	研修名	対 象 者	研修目的	回数	予定日
		C A D (初級)	基本的なCADの技術を習得したい 職員	CAD操作に関する基礎的な知識を習得する。	2	4/19 4/20
ΙT	毎年	C A D (中級)	日常業務に活用できるCADの技術 を習得したい職員	CAD操作の一通りの知識を習得する。	2	7/13 7/14
		★新規 i-Construction	i-Constructionに関する基礎的な知 識を学びたい職員	3次元データの操作及び活用に関する知 識を習得する。	2	7/15 7/16
		土木施工管理	土木工事を担当する経験年数5年程 度までの職員	一般的な土木工事の施工管理に必要となる基礎知識を習得する。	ı	5/11-12
初級	毎年	積算手計算 (初任者)	初めて土木業務(積算業務)を経験す る職員	積算(設計書)の構成と歩掛表の見方等の 解説とあわせて、演習を行うことにより 基礎知識を習得する。	2	4/7-8 5/18-19
		公共測量(実習)	土木工事を担当する経験年数3年程 度までの職員	測量実習により、工事現場の標高や座標 を確認する技術を習得する。	ı	6/1-2
		橋梁点検 (初任者実習)	橋梁の維持管理業務に初めて携わる 職員及び基礎を学びたい職員	橋梁の維持管理業務で必要な基礎及び点 検等についての知識を習得する。	ı	4/27-28
			行政が知っておくべき防災の基礎知 識を学びたい職員	土木分野における災害の予防という観点 での理解を深める。	Ι	5/21
		災害復旧実務	災害復旧業務を学びたい職員	災害時の実地演習から模擬査定までを行い、国庫負担法における災害復旧事業の 実務的な知識を習得する。		5/24-25
		土木材料 (コンクリート I 部)	コンクリートの品質に関する基礎知 識を学びたい職員	コンクリートの配合を実際に設計、試験 を体験することで、品質を判断する知識 を習得する。	ı	6/30-7/1
		<工場見字> ————————————————————————————————————	コンクリートの実務に関する基礎知 識を学びたい職員	多くの土木工事で使用されるコンクリートについて、生産・出荷の実態を見ることでコンクリートの品質に関する基礎知識を習得する。	ı	7/2
専門	毎年	★新規 橋梁補修に関する 発注者業務	橋梁の維持管理業務に携わる職員	橋梁補修に関して発注者として必要な基 礎知識を習得する。	Ι	7/5
			構造物設計(道路排水構造物)を学び たい職員	道路土工(排水工指針・カルバート工指針)の考え方や基準の解説により、その知識を習得する。	Ι	7/20
		土木工事における 契約・管理・検査	土木工事における契約、安全管理、 検査について学びたい職員	土木工事における契約手続きや安全管 理、検査の留意点についての理解を深め る。	-	7/28
		下水道	下水道事業について学びたい職員	下水道事業における幅広い基礎知識を修 得する。		8/24-25
		i-Construction (基礎知識)	i-Constructionに関する基礎的な知 識を学びたい職員	i-Constructionに関する基礎的な知識 を習得する。	-	8/27
		住氏との合息形成の 図り方	地元説明会やワークショップに向け た、プレゼンテーションを学びたい 職員	ワークショップや地元説明会の留意点等 についての理解を深める。	Ι	9/1

【県·市町村職員対象】

コース	開催頻度		研修名	対象者	研修目的	回数	予定日
		道	道路維持・交通安全	道路の維持管理業務を学びたい職員	道路分野で必要な維持・修繕及び交通安 全対策に関する知識を習得する。	I	9/7
			土質調査・解析 (基礎および演習)	土質に関する基礎知識、応用知識を 学びたい職員	土質・地質調査に関する基礎知識から応 用知識まで、設計演習を交えながら習得 する。		9/9-10
	毎		河川計画	河川の設計計画について学びたい職員	河川計画の基本となる流下能力の計算方 法を演習を交えながら学習する。	_	9/17
	年	(土木材料 アスファルトI部)	アスファルトの品質に関する基礎知 識を学びたい職員	アスファルトの配合設計、試験等を体験 することでアスファルト混合物の品質を 判断する知識を習得する。	-	9/29 – 30
		(土木材料 アスファルト2部) <工場見学>	アスファルトの品質に関する基礎知 識を学びたい職員	多くの土木工事で使用されるアスファルト合材について、生産・出荷の実態を見ることでアスファルトの品質に関する基礎知識を習得する。	-	10/1
			公園緑地	公園緑地事業を学びたい職員	公園緑地事業に必要な維持・管理等に関する基礎知識を習得する。	I	10/6
		用	建物移転補償編	用地業務の建物移転補償に関する知 識を学びたい事務及び技術職員	用地取得に必要な建物移転補償に関する 知識を習得する。	1	7/21
		地	土地評価編	用地業務の土地評価に関する知識を 学びたい事務及び技術職員	用地取得に必要な土地評価に関する知識 を習得する。	_	-
専門		構造物	擁壁編	構造物設計(擁壁)を学びたい職員	道路土工(擁壁工指針)の考え方や基準の 解説により、その知識を習得する。	1	7/30
		設計	仮設構造物編	構造物設計(仮設構造物)を学びたい 職員	道路土工(仮設構造物工指針)の考え方や 基準の解説により、その知識を習得す る。	-	-
		橋梁	上部構造編	橋梁(上部工)設計を学びたい職員	道路橋示方書(コンクリート橋編、鋼橋編)の考え方や基準の解説により、その知識を習得する。	_	8/4
	隔年	計画	下部構造編	橋梁(下部工)設計を学びたい職員	道路橋示方書(下部構造編)の考え方や基 準の解説により、その知識を習得する。	1	-
		道路	交差点設計編		道路構造令の考え方や交差点設計に関する基準の解説により、その知識を習得する。	Ι	8/17-18
		計画	線形設計編	道路計画(線形設計)を基礎から学び、道路構造令の知識を深めたい職員	道路構造令(道路構造の一般的な技術的 基準)の考え方や基準の解説により、そ の知識を習得する。	ı	-
		の り	落石対策・ 地すべり対策編	のり面設計(落石対策及び地すべり 対策工)を学びたい職員	道路土工(のり面工指針)の落石対策、地すべり対策の考え方や基準の解説により、その知識を習得する。	ı	9/15
		面	のり面保護編	のり面設計(のり面保護工)を学びた い職員	道路土工(のり面工指針)ののり面保護工に関する考え方や基準の解説により、その知識を習得する。	ı	-
			多自然川づくり (体験)	多自然川づくりの基礎を学びたい職 員	福岡県内の河川環境や川づくりに関する 知識を習得する。	-	-

令和3年度

新規開講 (市町村職員対象)

初心者向け

ドローン講習会

航空法の講義やドローンの操作実習を通して、 ドローンの基礎知識を習得します。

開催予定日

6月23日(水)・9月22日(水)・12月1日(水)

※ 詳細については後日、ご案内いたします。



研修開催時の

新型コロナウイルス感染症への対策について

- ① 講師席と受講者席、受講者席と受講者席の距離をとる。
- ② 受講者数を制限する。
- ③ 全て大研修室にて実施する。
- 4 | 時間に | 回換気をする。
- ⑤ 消毒液を扉付近に設置する。
- ⑥ 講師及び受講者に対しては、事前に感染防止対策の お知らせと協力をお願いする。



大研修室(受講人数制限:84名)

★ 研修当日の流れ

オリエンテーション20分前より 右側の手順に沿ってセンター内入所 となります。

※専用入口: | 階玄関入口(右側通路)

オリエンテーション開始5分前までには 入室を済ませて下さい。

手指消毒 (マスク着用) 受講生専用入口



検温

体表面温度 計測器



検温済 カード配布

出席確認後回収



研修室 入室 座席指定



令和2年度 研修風景 (コロナ対策)

研修開催にあたっては、受講者が安心して 参加できる環境づくりに取り組みました。



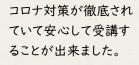
講義風景(ドア開放)



休憩時間 (換気中)

コロナ対策で大変な中、 研修を実施して頂きあり がとうございました。

受講者アンケートより



受講者アンケートより

令和2年度 研修のご紹介

市町村橋梁メンテナンス講習

福岡県県土整備部道路維持課・福岡県道路協会・(公財)福岡県建設技術情報センター との共同開催研修です。

「現場で学ぶ石橋点検」「現地で学ぶコンクリート橋の補修工事」2研修を開催しました。

現地で学ぶ コンクリート橋の補修工事

令和2年11月13日 開催 (受講者数:24人)

令和3年1月25日号 日経コンストラクションに掲載されました。

研修内容

コンクリート橋の劣化と補修(座学) 60分 直営でできる補修工法(座学) 50分 現地踏査 75分 補修実習 130分 講評 30分

講師のご紹介

福岡大学 櫨原先生、山田先生 玉名市 木下氏 メンテナンスソーシャル(株) 白木氏 All ONE(株) 廣氏、荒美氏、家木氏、安里氏 (株)九検 古賀氏





受講者アンケートより

- ・市町村の実情にマッチした大変参考になる講習だった。
- ・コンクリート橋の劣化要因の基礎知識を始め、現地踏査、実習があり充実していた。
- ・橋梁メンテナンスが重要な事は理解しているが、通常業務に時間を取られ中々前に進めないのが現状。 今回の研修を受け、少しでも進める材料となった。
- ・橋梁メンテナンス技術という事で参加したが直営で出来る補修工法以外、一般的な基礎内容 だったので、より現場からヒアリングして貰い技術について学べる内容として欲しい。実地研修は楽しく為になった。
- ・直営補修を実際にやるにあたっての、注意点や必要事項についてもっと掘り下げて欲しかった。

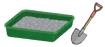






【供試体準備】

福岡大学社会デザイン工学科の学生の方々にご協力いただき 鉄筋を露出させたコンクリートの供試体を製作していただきました。







講師インタビュー



福岡大学 助教 櫨原先生 助教 山田先生

☆ 現在取り組まれている研究内容について教えてください。 福岡大学コンクリート実験室では、コンクリート構造物を長く、美 しく保つことを目標に、コンクリート分野における材料、施工、検 査、補修に関する幅広い研究に取り組んでいます。近年の動向と して、非破壊検査や補修材料・工法に対する注目度が高く、本実 験室でも透気性、弾性波伝搬特性、電気化学的指標に着目した モニタリング技術や、高機能・低価格な補修材料の開発に取り組 んでおります。



福岡大学 社会デザイン工学科 左から 櫨原先生 学生の方々(4人) 山田先生

☆講師をされていかがでしたか。

座学での講習の資料作成にあたっては、全くコンクリートに関する知識が無い方、ある程度の知識を持った方の双方にメリットがあるようなものを目指しました。そこで、コンクリートの基礎的な話を山田、応用的な話を櫨原が担当するようにいたしました。また、実地踏査や補修実習の際には、受講者の方とお話しできる機会も多く、大変楽しく講師を務めさせて頂けました。

☆ 先生をはじめ研究室の学生には、供試体作成や研修後のデータ作成をご依頼しましたが、いかがだったでしょうか。 実際の補修を受講者に体験してもらう今回の実習は、全国的に見ても先進的であったと自負しております。したがって、前例が ないため参考にできるものが無く、色々と考えることは多かったです。また、コロナ禍の影響で、準備を少人数で行う必要があり、 手伝ってくれた学生も大変だったと思います。しかし、今回の取り組みに参加した学生の中には、来年度から県庁や市役所に勤務する者もおり、自分の職場について知ることができる良い機会になったかと存じます。 今回、得られた経験やデータを基に、 実習内容をブラッシュアップし、継続して実施していければ甚大です。

☆ 今回の研修を通して受講者へはどんなことを学んでいただきたいですか。

コンクリート橋の補修に関して、それほど難しく考えずに、"これくらいなら自分でできないか?"というものを探してみて実践して 頂けると幸いに存じます。





意識福岡県建設技術情報センター

「研修」についての情報は ホームページ http://fcti.jp/





・JR篠栗駅から徒歩15分 ・福岡ICから車で5分

試験研究課 調查研修係

TEL: 092-947-2643 E-mail: kensyu@fcti.jp